

令和2年度事業計画

○ 現状・課題

昨年は、訪日外国人旅行者数が全国で対前年比プラス 2.2%の 3,188 万 2 千人となり、前年に続き 3,000 万人を突破し、7 年連続で過去最高を記録しました。本年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年であり、国では、訪日外国人旅行者数 4,000 万人の目標を達成するためには、地方への誘客促進や消費機会を拡大させていくため、体験型観光コンテンツの開拓・育成が重要と捉え、各種の取り組みを掲げ実施していく中、暖冬での雪不足の影響によるスキーヤー、スノーボーダーの減少に加え、世界各地に拡大をみせている新型コロナウイルスの感染により、全国的に広がるイベントの中止や宿泊のキャンセルなど、観光関係においても大きく影響を及ぼしている状況にあります。

一方で、本県においては、観光庁観光統計によれば、令和元年の本県の宿泊者数は過去最高の約 1,044 万人で、うち外国人宿泊数は前年比で全国 1 位の約 34.8% 増となる 541,980 人でしたが、その数は全国の 1% にも満たないことから、まだまだ伸びしろがあるものの、収束が見えない新型コロナウイルスの影響の深刻化が懸念される。また、令和 2 年度は、宮城県震災復興計画及び第 4 期みやぎ観光戦略プランの総仕上げの年である中で、復興需要の終息により地域経済の冷え込みへの対応が求められるとともに、観光戦略プランにおいて課題としている観光消費額の低迷や訪日外国人旅行者の特定地域への集中については、依然として課題であると考えられます。

○ 基本方針

基本事業の「情報収集・発信事業」、「観光客誘致対策事業」、「観光開発・啓発・研修事業」、「観光物品販売事業」において課題に向けて取り組む。また、会員組織を最大限に活かすとともに県の受託事業等を積極的に受け入れ事業の拡充を図ります。

本年度は、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、特に外国人受入対応の取り組み及び国内外におけるプロモーションについては、県及び関係機関と連携を図りながら効果的に行います。

一方で、観光開発に主眼をおいた取り組みを一層推進するために、魅力ある各種ウェブコンテンツを強化し、デジタルマーケティングを活用するとともにホームページアクセス解析により本県の観光ニーズを把握しながら効果的な情報発信及び効果検証に努めます。また、教育旅行の誘致促進及び宮城オルレの推進については、県からの委託により一層の強化を図り、国内外からの観光客の誘致促進を図ります。

なお、当連盟は、全県域にわたる唯一の官民一体となった会員組織による公益法人として各種事業を推進し観光による地域社会の発展を目指します。

○ 基本事業

<p>情報収集・発信事業 ～あらゆる情報提供のニーズに対応するために！～</p> <p>県内の観光情報を広く深く収集し、各種資料・ホームページ等において観光資源を整備し、一般消費者をはじめ企業・団体等が行うイベント等において活用してもらい強力に観光情報を発信する。</p>	<p>観光客誘致対策事業 ～交流人口の拡大を目指すために！～</p> <p>観光を取り巻く社会情勢や観光動向及び観光ニーズを捉え、会員及び各種関連団体等と連携し効果的な取組により観光客の誘致を図る。</p>
<p>観光開発・啓発・研修事業 ～観光地域づくりを推進するために！～</p> <p>地域と連携し観光資源を磨き上げるとともに地域が主体的に実施する観光客受入体制づくりや観光人材育成に対し支援する。</p>	<p>観光物品販売事業（収益事業） ～公益事業を支えるために！～</p> <p>観光P R キャラクターグッズ等の商品を開発し、会員の協力を得て販売することで公益事業を支える。</p>

○ 重点的な取組（課題事項に対する取組の方向性）

課題事項	A. 観光消費額の低迷 B. 訪日外国人旅行者の特定地域への集中 C. 沿岸部の復興需要の終息による地域経済の冷え込み
------	---



取組の方向性	ポイント
魅力ある観光プランの整備	<ul style="list-style-type: none"> ●本県ならではの質の高い「魅力ある広域周遊観光プラン」、「体験型観光」等の各種ウェブコンテンツの整備 ●魅力的な映像（動画・写真）コンテンツの整備 ●地域との連携による宮城オルレの推進 ●インスタグラムを活用した魅力的な映像の共有
I C T を活用した情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページ拡充による情報発信の強化及び各種コンテンツ整備による解析ツール活用による利用者ニーズの分析 ●O T A サイトとの連携による利用者サービスの向上 ●デジタルマーケティングを活用した効果的な情報発信の強化及び効果検証 ●S N S を活用した情報発信の強化
宿泊観光客の誘致促進	<ul style="list-style-type: none"> ●県等が実施する大型観光キャンペーンと一体となった宿泊観光客等の誘致促進に向けた取組み ●関係者との連携による県外における教育旅行誘客プロモーション等での誘致活動 ●地域との連携による滞在型イベント・着地型ツアーの発信強化
訪日外国人旅行者の対応	<ul style="list-style-type: none"> ●県及び関係機関との連携による 2020 東京オリンピック・パラリンピックへの対応 ●県及び関係機関との連携による海外プロモーション等での誘致活動 ●多言語ホームページ拡充による情報発信の強化 ●海外学校との学校間交流活動支援による海外からの教育旅行の誘致促進

1 情報収集・発信事業

県内の観光情報を広く深く収集し、各種資料・ホームページ等において観光資源を整備し、一般消費者をはじめ企業・団体等が行うイベント等において活用してもらい強力に観光情報を発信する。

特に、県の観光キャンペーンキャラクターを活用し情報発信を行う。

(1) 情報発信資料整備事業

幅広い観光客層に応じるとともに各種イベントでの活用及び観光資料の提供依頼に広く対応するため、次の資料を発行する。

① 観光ガイドブック（ウェルカムみやぎ観光ガイドブック）

地域における取組み等、観光資源の掘り起こしや観光ニーズに対応する情報及び旅行における基本データを網羅した着地型のガイドブックとするため、関係者の協力を得て発行する。

3月発行 発行部数／各 50,000 部 規格／A4 判、180 頁

② イベント観光情報誌（みやぎ EVENT JOY）

祭りやイベント等の旬の情報を広く紹介するため、関係者の協力を得て発行する。

発行部数／年 6 回 延べ 300,000 部 規格／タブロイド判、8 頁

③ 観光マップ（みやぎ旅光マップ）

観光地図を主体に観光資源を広く一般に紹介するため発行する。なお、改訂版については、モバイルサイトと連携について検討し、より一層の利便性の向上を図るものとする。

3月発行予定 発行部数／250,000 部

④ 観光カレンダーの発行

祭り・イベント等を広く紹介するため関係者等に配付する。

発行部数／1,500 部

【ポイント】

- ・県の観光キャンペーンキャラクター「ポケットモンスター」を活用した情報発信【強化】
- ・紙媒体とモバイルウェブサイトとの連携による情報発信【強化】
- ・観光ニーズを捉えたテーマ等による観光資源の紹介及び新たな観光情報の発信
- ・関係機関が主体となる各種イベント・コンベンション等での配付
- ・団体・企業等からの協賛等による効果的な整備

(2) ホームページ運営管理事業

観光資源並びに会員及び関係団体等の取組みを広く紹介するためホームページ、フェイスブックページ及びインスタグラムの運営を行う。

なお、ホームページについては、コンテンツの整備・拡充による情報発信を強化するとともに解析ツール活用により利用者ニーズの分析に努める。

①公式ホームページ「宮城まるごと探訪」

テーマ別情報／交通情報／サービス／ニュースと更新情報／カキコミ情報／共同事業関連サイトのご案内／観光連盟の概要／多言語（英語、繁体、簡体、ハングル）

②公式フェイスブックページ

連盟ホームページ情報のPR／会員フェイスブックのPR／その他観光情報のPR

③公式インスタグラム「triptomyagi」

写真コンテストの再投稿、その他観光情報のPR

【ポイント】

- ・本県ならではの質の高い各種ウェブコンテンツの拡充【強化】
- ・魅力的な観光動画集サイトの設置【新規】
- ・デジタルマーケティングを活用した効果的な情報発信の強化及び効果検証【強化】
- ・インスタグラム投稿写真コンテストを通じた魅力的な映像の発信

(3) 各種情報収集・提供事業

県内の各種観光資料及びデータを会員等の協力により収集し、関係機関及びマスコミ等に情報を提供する。また、各種情報発信資料を観光案内所等に提供し広く一般に配付する。

(4) 観光情報発信センター・観光写真ライブラリー運営事業（県委託事業）

宮城県庁舎1階の観光インフォメーションコーナーにおいて、県全域にわたる観光案内、観光資料の発送及び観光写真の貸出等の業務を行い、本県の魅力ある観光資源の提供を行う。

2 観光客誘致対策事業

観光を取り巻く社会情勢や観光動向及び観光ニーズを捉え、会員及び各種関連団体等と連携し効果的な取組により観光客の誘致を図る。

特に、県からの委託事業等を積極的に受け入れながら事業拡充を図るとともに、キャンペーン展開については、県及び仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会と連携し実施する。

(1) 観光客誘致促進事業

① 滞在型観光の推進

宿泊観光客の誘致や地域での滞在時間を増やす取組を推進するなど、具体的な観光客の誘致促進に努める。

【ポイント】

- ・大型観光キャンペーンと連携した宿泊客増に向けた取組【強化】
- ・地域との連携による宮城オルレの推進【強化】
- ・地域・事業者等が実施する滞在型イベント・着地型ツアへの支援【強化】
- ・仙台空港就航都市圏からの誘客促進に向けた支援

② 外国人観光客の誘致促進

県及び関係機関との連携による効果的な外国人観光客誘致の活動を推進する。また、県及び関係機関と連携し、2020東京オリンピック・パラリンピック対応の取り組みを推進する。

【ポイント】

- ・県及び関係機関との連携による海外プロモーション等での誘致活動【強化】
- ・多言語ホームページ拡充による情報発信【強化】
- ・訪日外国人旅行者インセンティブツアに対する支援
- ・国内における海外の学校との交流活動に対する支援

③ 教育旅行等の誘致促進

関係機関及び受入施設等との連携により教育旅行誘致活動を推進する。

【ポイント】

- ・県外における教育旅行誘客プロモーションでの誘致活動【強化】
- ・減災・防災教育プログラム等利活用による特徴を捉えたPR活動
- ・教育旅行受入施設等の更新及び専用ガイドブック・ウェブサイトでの発信

④ 写真コンテスト等の実施

映像コンテンツの力により本県観光の魅力を広く発信するため、写真コンテスト等を行うとともに、映像コンテンツデータの収集に努める。

【ポイント】

- ・宮城の女子旅インスタグラム投稿コンテストの実施

(2) 共同事業推進事業

各種団体等が実施する観光事業等と連携し効果的な事業展開を行うものとする。

① 各種観光展等への参加

県及び関係機関と連携し各種観光展等に参加し観光資源のPRに努める。

- ・県の物産と観光展（横浜市、広島市、名古屋市、大阪市、千葉市）
- ・夏の旅観光展（首都圏）
- ・冬の旅観光展（首都圏）
- ・各種イベント等への出展

② 広域圏事業への支援

県内外の広域圏団体等において行われる観光客誘致宣伝事業又は観光客受入体制強化事業等に対し支援する。

- ・せんだい・宮城フィルムコミッション事業
- ・みやぎおかみ会事業
- ・仙台まるごとバス運営協議会事業
- ・楽天イーグルス・マイチーム協議会事業
- ・日本観光振興協会全国観光振興事業
- ・東北観光推進機構事業
- ・情報発信センター（札幌）事業
- ・大阪での観光情報提供事業

③ 観光客受入施設との同事業

- ・観光キャラバン・マスコミ招請・旅行会社現地研修

旅行会社大手6社の旅ホ連で組織する県観光誘致協議会と共同で観光キャンペーンを実施するとともにマスコミの招請や旅行会社社員の現地研修会を行いみやぎの観光PRに努める。

- ・冬季誘客共同宣伝

スキーパークの誘致促進を図るため、各スキー場及び関係団体等と一体となり宣伝強化を図る。

【ポイント】

- ・各関係企業・団体等キーマンとの連携による事業展開

3 観光開発・啓発・研修事業

地域と連携し観光資源を磨き上げるとともに地域が主体的に実施する観光客受入づくりや観光人材育成に対し支援する。

特に、観光資源の磨き上げを強化し、魅力ある観光コンテンツ等の開発に努める。

(1) 地域観光開発推進事業

① 観光資源の磨き上げ

観光地域づくりを推進するため、地域（市町村等）との連携により質の高いモデル旅行（過ごし方提案）の整備を推進する。

【ポイント】

- ・本県ならではの「魅力ある広域周遊観光プラン」、地域に呼び込む「体験型観光」等の各種コンテンツの整備【強化】
- ・魅力的な映像（動画・写真）コンテンツの整備【強化】
- ・地域による観光客受入体制づくりの活動等に対する支援

② 地域イベント開発の推進

各地域で行なわれる行・催事の振興を図るため、協賛・後援を行う。

(2) ホスピタリティ推進事業

おもてなしの向上及び観光みやぎのイメージアップを図るため、次の事業を実施する。

① 人材育成の推進

観光事業に対するおもてなし等の意識啓発及び先進の観光事業等を推進するため、地域又は業界団体等と共同で研修会等を実施する。また、東北運輸局が主体となる東北地方観光案内所協議会の構成員として観光案内所のスキルアップに努める。

【ポイント】

- ・観光案内所のインバウンド対応向けたスキルアップの取組み
- ・インバウンド受入環境整備の支援メニュー及び人材育成セミナー等の周知

② アクセスポイントでのおもてなしの推進

- ・仙台空港での電飾看板・パンフレットラックの設置

(3) 仙台・宮城大型観光キャンペーン対応事業

仙台・宮城大型観光キャンペーン事業を効果的に推進することから仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会に職員を派遣する。

(4) 観光功労者の表彰

観光事業の振興の上で顕著な業績があると認められる個人・団体及び先進的な観光振興事業を表彰し、後進の範とすることにより、観光事業全般の振興発展に努める。

(5) 観光エコ活動推進事業 ※特別事業

地域又は業界等が主体となり実施する観光振興につながる自然環境保護活動を推進するため、団体等に対し助成金を交付し、地域の観光エコ活動を支援する。

なお、本事業は、アサヒグループホールディングス（株）の東北復興応援を目的とした社会貢献事業の枠組みの中からの寄付金を財源として実施するもの。

4 観光物品販売事業 ※収益事業

公益事業を推進するための財源を確保する観点から、仙台・宮城観光PRキャラクター「むすび丸」グッズの一般有償配付を積極的に実施する。

【ポイント】

- ・新商品の開発検討【拡充】

5 企画調査事業

観光関係者の意見・要望を伺いながらより良い事業を推進するとともに、観光振興に関する調査及び整備に関する事業を行う。

(1) 企画専門委員会

重点事業等について協議するため、地域及び各種業界で構成する企画専門委員会を必要に応じ開催する。

(2) 観光振興調査・整備事業

県内観光関連事業者等の基礎資料とするため、会員等の協力を得て観光資源及び事業者の調査・整備を行う。

令和2年度事業予定一覧

時期	事 業	実施場所等
1 情報収集・発信事業		
通年	観光情報発信センター・写真ライブラリーの運営	県庁1階
通年	ホームページでの情報発信	全国
通年	S N S を活用した情報発信	全国
隔月	みやぎE V E N T J O Yの発行・配付	観光案内所、マスコミ、旅行会社等
4月～	県観光マップの発行・配付	観光案内所、各種イベント
4月～	ウェルカムみやぎ観光ガイドブックの発行・配付	旅行会社、観光案内所等
11月～	観光カレンダーの発行・配付	関係機関
2 観光客誘致対策事業		
4月	県の物産と観光展（そごう横浜店）	横浜市
5月～3月	大型観光キャンペーン連携事業	県内、県外
6月	夏の海と山観光展	首都圏
4月～随時	参加体験型イベント・ツアーへの支援	国内、国外
5月～随時	教育旅行誘致・受入体制推進に向けた活動	県内、県外
7月	青森・宮城の物産と観光展（東急東横）	東京都渋谷区
7月	仙台航空路線就航都市に対する観光プロモーション	県外
9月	ツーリズムEXPOジャパン	首都圏
11月	県の物産と観光展（そごう広島店）	広島市
11月～3月	冬季誘客共同宣伝事業	首都圏、県内
11月	冬の旅観光展	首都圏
11月	I T F (国際観光展)	海外（台湾）
12月	東北プロモーション	海外（台湾）
1月	県の観光と物産展（名鉄百貨店）	名古屋市
3月	県の物産と観光展（そごう千葉店）	千葉市
3月	大手旅行会社等への観光キャラバン	首都圏等
随時	臨時観光案内所の運営	県内
随時	各種共同事業等への支援	県内、県外
3 観光開発・啓発・研修事業		
随時	観光資源の磨き上げ（各種コンテンツの整備）	県内
随時	地域による観光客受入体制づくり支援	県内

随时	地域イベントの後援等	県内
4月～	大型観光宣伝キャンペーン事業運営の支援	県内
4月～	仙台空港での看板等掲出	県内
4月～	観光エコ活動推進事業	県内
6月	観光功労者の表彰	県内
4月～（隨時）	人材育成おもてなし講習会	県内
4月～（隨時）	観光客受入体制づくり支援	県内

4 観光物品販売事業

随时	観光PRキャラクターグッズ等の販売	県内ほか
5 企画調査事業		
随时	企画専門委員会（必要に応じ開催）	県内
随意	観光振興調査・整備	県内